



令和5年12月号

たてやま議会だより

2023
館山市議会報告会

午前の部

議会報告会開催

57人参加で活発な意見交換

2023
館山市議会報告会

午後の部

第2回
臨時会北条小学校プール改築
工事請負契約1件を議決原案
可決

令和5年第2回臨時会は、8月7日に招集され、市長から提案のあった北条小学校プール改築工事請負契約の議案1件の審議を行い、全会一致で可決しました。議案の内容は次のとおりです。

◇議案第58号 工事請負契約の締結について

・北条小学校プール改築工事に係る総合評価一般競争入札の結果、渡辺建設株式会社が2億346万7千円をもって落札したので、同社と工事請負契約を締結するものです。

老朽化が著しい北条小プール

9月定例会

原案
可決令和4年度決算認定
出産・子育て応援給付金事業
北条幼稚園のこども園化整備事業の
補正予算など19件を議決

一般会計決算の概要

令和5年9月定例会は9月1日に招集され、9月28日までの28日間の会期で開催し、市長提案による一般議案2件、条例議案1件、補正予算7件、認定議案5件、人事案件4件を審議しました。

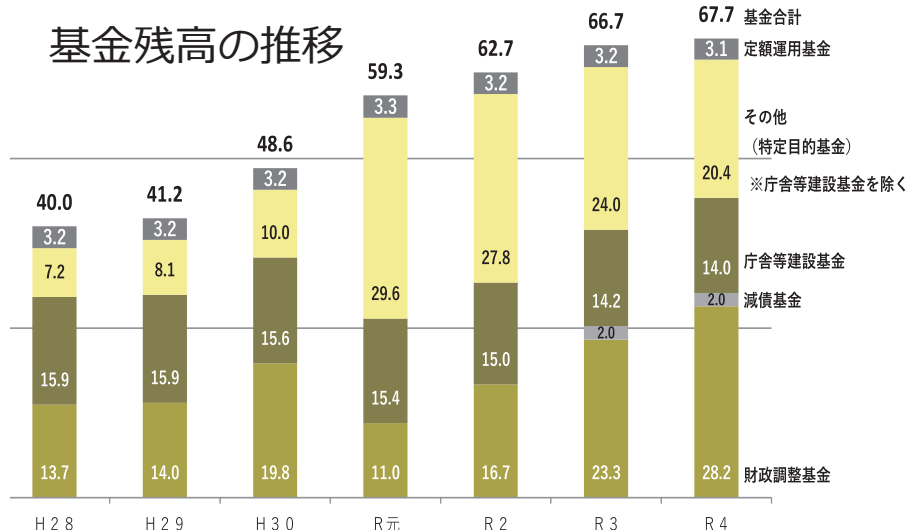
初日に一般議案1件（工事請負契約の締結）を先議し、原案どおり可決しました。委員会審査では令和4年度決算について、決算審査特別委員会に付託し、その他議案6件は、所管する各常任委員会に付託し審査しました。

最終日に各委員会審査の結果を報告し、追加議案6件とともに審議し、慎重審議の結果、全ての議案について、原案どおり、可決、同意、認定しました。

令和4年度の一般会計の決算規模は、歳入総額235億8千430万6千円（前年度比1.6%減）歳出総額227億2千103万4千円（同0.7%減）で、歳入歳出差引額は、8億6千327万2千円で、翌年度への繰越財源1億2千725万8千円を差し引いた実質収支は、7億3千601万4千円（同25.6%減）となりました。

令和元年房総半島台風等による災害関連費用や、新型コロナウイルス感染症対策関連費用の支出額は大きく減少した一方、清掃センターの改良事業や館山中学校新校舎の整備、食のまちづくり拠点施設（道の駅グリーンファーム館山）の整備など、複数の大規模事業が本格化したことなどから、前年度とほぼ同規模の決算額となりました。

基金残高の推移



令和4年度決算における基金残高の総額は、67億7千148万7千円となり、前年度比1億273万8千円（1.5%）増加しました。

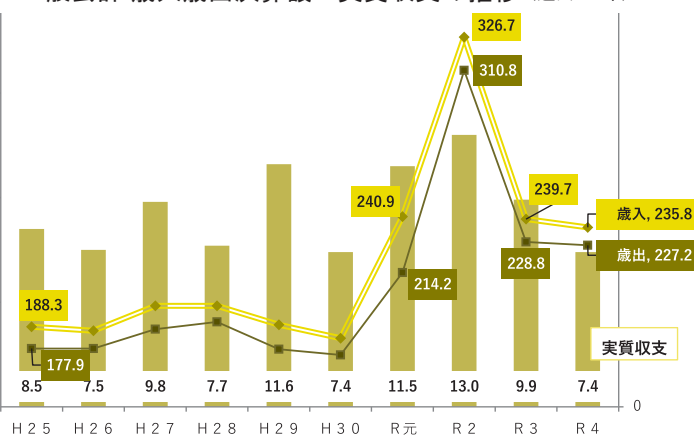
財政調整基金の令和4年度末残高は、28億2千88万8千円（前年度比4億9千502万9千円の増）となりました。

決算審査 特別委員会

委員長 鈴木 順子
副委員長 佐野 聖一
委員 鈴木 正一、鈴木 宏、石井 敏、鈴木 徳、鈴木 秀、鈴木 明、鈴木 里、鈴木 平、鈴木 山、鈴木 洋

決算審査特別委員会では、令和4年度決算（認定第1号／第5号）等について審査を行った結果、全員一致をもって原案どおり認定すべきと決しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

一般会計 歳入歳出決算額・実質収支の推移（過去10年）



◇総務費／南房総・館山地域公共交通活性化協議会負担金について

問 「チヨイソコ南房総・館山」と「買い物シャトルサービス」の利用状況を伺います。

答 令和4年度の「チヨイソコ南房総・館山」の利用者数は、448人、一日あたり平均3.96人、「買い物シャトルサービス」の利用者数は、194人、一日あたり平均3.73人です。

◇民生費／学童クラブ登降所管理システム導入事業について

問 導入後の保護者からの感想と学童クラブを欠席した子どもの保護者への連絡について伺います。

答 「学童クラブの出欠席の連絡がメールになり時間等を気にせず報告できる」と好評です。子どもが学童を休んだ際、保護者から欠席メールが届いていない場合には、学童クラブで子どもを探すとともに、保護者と連絡をとり、子どもの安全確認を行っています。

◇衛生費／生ごみ処理機購入費補助金について

問 購入店舗別の購入割合と購入者へのアンケート結果を伺います。

答 323基の補助に対して、家電量販店は91件で28%、ホームセンターは51件で16%、その他の市内店舗は



◇農林水産業費／館山ジビエ利用促進事業補助金について

問 効果促進事業で新たに開発された商品を伺います。

答 イノシシの生ハム、ジャーキー、イノシシやキョウの皮を利用した名刺入れ、ブックカバー、ペンケース等の試作品を開発しました。

181件で56%。アンケートの回答率は83%で、「ごみ出しの回数が減った」などの意見がありました。

◇商工費／観光プロモーション費について

問 トップセールスによる台湾からのインバウンド観光需要は、どの程度増加しましたか。

答 令和5年1月から6月までの実績は、外国からの観光客1,020人の内、台湾からは332人と令和元年の半数以上になっており、増加傾向です。

◇土木費／都市計画道路調査事業について

問 都市計画道路の見直しの方向性を伺います。

答 11路線の内、整備済2路線を除いた9路線について、必要性や代替路線があるかを踏まえ評価した結果、4路線が存続、5路線が廃止候補検討となりました。この5路線は、交通処理検証の結果、全路線を廃止しても周辺道路への影響は少なく、混雑もないため廃止路線として整理しました。

今後、県と協議し、都市計画審議会で見直しや廃止の決定を判断していきます。

◇教育費／若潮マラソン大会費について

問 前回の若潮マラソン大会は、スマホ登録申請でしたが、そのメリット、デメリットを伺います。

答 主催者のメリットは、誤字、脱字の確認作業がなくなり、データの一括管理ができることです。参加者は、名前や住所の登録ミスがなくなり事前の配布物を確実に受け取ることができます。ネットエントリーが苦手な人に対しては登録手続きをサポートしています。

【討論要旨】認定第1号

【賛成討論・石井敏宏議員】財政推計では、近い将来に財政調整基金と庁舎等建設基金の枯渇が予想されたが、財政調整基金を5億円近く増やし28億2千万円、庁舎等建設基金は14億円を維持していることは評価する。今後は長期的な視野に立ち、業務の改善を行いながら執行してほしい。特に「事業と人件費をリンクさせる」、「事業成果をなるべく数値化する」など費用対効果の検証が多くの事業で可能になるよう努めることを要望して、認定第1号に賛成します。

常任委員会

3つの委員会が所管する部門や事務に関する調査、付託を受けた議案・請願などを審査します。

総務

委員長 昇 宏一
副委員長 月 敏聖
委員 鈴木 二平
委員 井野 洋
委員 石佐 渡東

付託議案1件
賛成多数により原案可決
議案内容と主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第60号 令和5年度
館山市一般会計補正予算
(第5号)

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1億9千164万6千円を追加し、総額257億9千915万3千円とするものです。

問 公私連携幼保連携型認定こども園施設整備事業とは、どのような整備ですか。
答 北条幼稚園の園舎の北側の芝生広場に、こども園化に伴い必要な施設を運営法人が建設します。



問 出産・子育て応援給付金事業について、対象者の見込みは何人ですか。また、来年度以降も継続しますか。
答 出産で125人、子育てで115人を見込んでいます。来年度は、こども家庭庁の令和6年度予算概算要求のポイントの中で本事業が示されているため、継続していくものと考えています。

問 消防団詰所整備事業について、今の場所から移動するのですか。また、団員の駐車場は確保できますか。
答 現在の場所から100メートルほど東側に建設予定で、団員の駐車スペースも確保できます。

【討論要旨】 議案第60号

【反対討論…渡辺雄二議員】

公私連携幼保連携型認定こども園施設整備事業について、280人の定員は多いと感じる。また、幼稚園等の運営に民間法人が参入すると、保育士の処遇の悪化や過重労働が危惧され、保育事故も懸念されるので運営は公立でやるべきと考えます。

【賛成討論…石井敏宏議員】

全体として適切な予算と評価する。公私連携幼保連携型認定こども園について、公立を望む声もあるが、今回の民間事業者は、延長保育や休日保育も期待できるなど、プラス面での効果が大きいと考えるので、公私連携幼保連携型認定こども園の施設整備事業を含め、補正予算に賛成します。

文教民生

委員長 浩子
副委員長 順子
委員 浩敬
委員 明子
委員 榮里

付託議案3件
全員一致により原案可決
主な議案と質疑応答は次のとおりです。

◇議案第63号 令和5年度
館山市介護保険特別会計補
正予算(第1号)

問 補正後の基金残高と活用について

答 基金残高は7億6千458万2千2円です。活用については、今年度策定する第9期介護保険事業計画の中で協議していきます。

問 この基金残高では、保険料を取りすぎではありませんか。

答 今後、高齢者の増加による介護給付費の増加が見込まれるため、基金を有効活用していきます。

建設経済

委員長 長谷川秀徳 副委員長 石井信重
委員 秋山光章 鈴木正一 瀬能孝夫 安田邦春



付託議案2件
全員一致により原案可決
主な議案と質疑応答は次のとおりです。

◇議案第59号 館山市治山事業分担金徴収条例の制定について

問 受益者分担金の割合を15%とした根拠について
答 受益者に対して相応の負担とするため、県内の治山事業の分担金条例等を定めた13自治体を参考に、その中で最も少ない負担割合の15%を採用しました。

令和5年第2回 臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第58号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 全会一致

令和5年第3回 定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第59号	館山市治山事業分担金徴収条例の制定について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第60号	令和5年度館山市一般会計補正予算（第5号）	総務	原案可決 賛成多数
議案第61号	令和5年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	文教民生	原案可決 全会一致
議案第62号	令和5年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	文教民生	原案可決 全会一致
議案第63号	令和5年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	文教民生	原案可決 全会一致
議案第64号	令和5年度館山市下水道事業会計補正予算（第1号）	建設経済	原案可決 全会一致
議案第65号	令和4年度館山市下水道事業会計剰余金の処分について	決算審査	原案可決 全会一致
議案第66号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 全会一致
議案第67号	令和5年度館山市一般会計補正予算（第6号）	—	原案可決 全会一致
議案第68号	令和5年度館山市一般会計補正予算（第7号）	—	原案可決 全会一致
議案第69号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
議案第70号	館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	原案可決 全会一致
議案第71号	館山市教育委員会教育長の任命について	—	原案同意 全会一致
議案第72号	館山市教育委員会委員の任命について	—	原案同意 全会一致
認定第1号	令和4年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	認定 賛成多数
認定第2号	令和4年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	認定 全会一致
認定第3号	令和4年度館山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	認定 全会一致
認定第4号	令和4年度館山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	認定 全会一致
認定第5号	令和4年度館山市下水道事業会計決算の認定について	決算審査	認定 全会一致

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対して、議員が質問を行うものです。

年齢は
10月1日現在



本澤 栄里子議員

1期目・56歳・船形
新政クラブ
(文教民生委員会委員)

船形バイパスについて

問 都市計画道路船形館山線（船形バイパス）事業の進捗状況を伺います。

答 事業延長1128メートルのうち、起点部の約300メートル区間の本体工事が、仕上げの舗装を残して完成しています。遅延の原因は、用地の契約に至るまでの手続きに相応の期間を要したこと、当初事業認可には含めていなかった宇田排水路の雨水排水路整備を追加したためです。

事業目的や概要は、市ホームページに掲載しているほか、都市計画法に基づく認可図書の縦覧、



工事の起点部を視察する議員

さらに工事内容については、地元の回覧や説明会を開催し意見をいただいています。

解説 事業の進捗状況を明確に説明することで、住民の方々は事業の理解と信頼を深めることができます。

館山チアアップ・千葉県誕生150周年記念パレード

問 大規模な野外イベントでの安全面の配慮・衛生管理について伺います。

答 記念パレードと北条海岸BEACHマーケットの同日開催で、館山市が過去に経験したことがない来場者が想定されていますが、千葉県、館山警察署と共に十分な安全対策を講じていきます。

衛生管理にはできるだけ配慮し、仮設トイレは快適性、利便性に十分配慮し、適正な位置に配置できるようにしたいと考えています。

解説 大規模野外イベントを成功させるためには、万全の安全対策、清潔な環境を整える必要があり、その準備が全て揃ってこそ館山市の魅力が来場者の心に残り、再び足を運んでいただけだと思います。新たな交流や経済的な活性化がもたらす効果は大きいと思います。

(7)

たてやま議会だより

沖ノ島の活用について



石井 敏宏議員

4期目・51歳・上真倉
緑風会
(総務委員会委員)

問 市として沖ノ島の存在意義や目的をどのように考えていますか。

答 沖ノ島は南房総国立公園内にあり、都市公園としての位置づけは風致公園となっています。沖ノ島公園は、風景や趣きなど自然の恩恵を感じ楽しむことを目的とした公園で、館山市の貴重な財産と考えています。

沖ノ島の周辺海域は、サンゴの生息地の北限域とされ、色鮮やかな小魚が住む豊かな生態系を有しており、古くからの手付かずの自然が形成されている島内には、写真映えするスポットも多く点在することから、年間を通じて多くの観光客が訪れる市内屈指の観光スポットであると認識しています。また、市内外から多くの小学校や中学校、高等学校等の教育機関が校外学習で訪れるなど、環境教育の場としても最適な場所であるとともに、貴重な観光資源でもあり、館山市をPRするうえでも重要な存在であると考えています。

問 民間団体や関係者との連携が大事ですが、「沖ノ島について考える検討会」の開催状況について伺います。

答 「沖ノ島について考える検討会」の開催状況ですが、現在、海水浴場開設の前後で1回ずつ、年2回開催しています。会議には、市の関係課の他、館山市観光協会や館山漁業協同組合、沖ノ島で活動をされている団体や事業者にも出席してもらい、沖ノ島海水浴場の開設に係る対策や沖ノ島環境保全協力金、島内の環境保全、トイレ等の設備など、沖ノ島に関係する内容について意見交換しています。

館山市としても、沖ノ島をより魅力的で快適な場所にしていくためには、民間団体や関係者との連携が不可欠であると認識しているため、引き続き、「沖ノ島について考える検討会」を通じて、課題の解決や連携強化に努めていきます。



海水浴客で賑わう沖ノ島

高齢者のデジタルサポート



東 洋平議員

1期目・39歳・長須賀
市民クラブ
(総務委員会委員)

問 社会のデジタル化が急速に進行し、防災情報もIT機器の受発信がベースとなりつつあります。高齢者がデジタルに親しみ、活用する技術サポートについて、現状と今後の取組を伺います。

答 「触って体験！スマートフォン講座」「電子図書館使い方講座」や「日本ユニファイド通信事業者協会」と連携した講座を開催しています。

今後、行政による相談窓口の開設や巡回相談会の実施、全国の先進自治体を参考にした講座内容の改善など検討していきたいと考えています。

解説 令和2年内閣府調査に照らすと、市内のスマートフォンやタブレットをほぼ利用しない60歳以上の方は、約1万人と推計されます。平成25年から行った講座46回の参加人数は平均して約12人で決して十分とは言えません。一人でも多くの高齢者が取り残されないように積極的な支援を要望しました。

高齢者の

生きがい支援について

問 市が行う健康寿命を伸ばす活動の支援や、市街地のバリアフリー化について伺います。

答 「ふれあいいきいきサロン」などの通いの場をはじめ、シルバー人材センターや老人クラブ連合会への活動支援、特に「元気がでる体操教室」では市職員が出向いて介護予防などを行ってきました。

バリアフリー化については、現状、計画的な歩道整備の予定はありませんが、市道の新設・改良では、高齢者や障害者などを含む全ての歩行者が安全で円滑な移動ができるようバリアフリーを考慮した歩道を設置しています。

解説 市の高齢化率は現在40・36%ですが、今後も長期的に増加します。税収が減り、社会福祉関係費が財政を圧迫する中、高齢者が健康的な生活を営める環境づくりの推進を要望しました。



体操教室（江田にこにこ会）

主な未利用地



答 有効活用についてですが、行財政改革方針に基づき、普通財産は自主財源確保のため平成17年度から積極的に売却することとし、令和4年度末で累計7億4千514万4千円の土地売却収入を得ています。

解説 普通財産は売却することで、固定資産税及び都市計画税の税収入も増え、民間利活用で地域活性化にもつながりますので、方針に基づき進めていただきたいと思います。面積が大きく、活用まで至っていない例として、ウェルネスリゾートパーク



佐野 聖一議員

2期目・48歳・波左間
市民クラブ
(総務委員会委員)

公有財産の有効活用について

問 公有財産の有効活用について伺います。

計画用地、旧工業団地用地、大賀市営住宅跡地があります。

ウェルネスリゾートパーク計画は、平成10年度に事業が凍結されてから25年が経過しています。事業計画の見直し、廃止を踏まえた検討が必要です。県立館山運動公園に隣接していることから、これまでも千葉県に対し有効活用を要望しています。また、旧工業団地用地、大賀市営住宅跡地についても有効活用に向け検討していくとのことですので、引き続き注視していきます。

館山市・南房総市 定住自立圏

共生ビジョンについて

問 定住自立圏共生ビジョンの取組状況について伺います。

答 現在、計画期間の令和8年度に向けて南房総市と連携し、各事業を展開しています。取組状況としては、「データに基づく戦略的観光プロモーション事業」また、「中小企業支援事業」さらに、「南房総・館山地域公共交通活性化推進事業」では、2市が連携し事業を進めています。

全ての事業が、すぐに取組の実現や効果を得られるわけではありませんが、引き続き2市で連携しながら、社会情勢に合った施策を検討し、2市にお住いの皆様の生活を維持・向上できるよう事業を進めていきます。

解説 公共施設の利用料金について、2市共通料金に向けた検討を要望しました。



鈴木 明子議員

1期目・63歳・山萩
公明党
(文教民生委員会委員)

带状疱疹ワクチン

接種について

問 带状疱疹ワクチン接種費に1回1万円の助成ができないか伺います。

答 現在の国の予防接種制度では、带状疱疹ワクチンは、個人の判断に基づく任意接種に位置づけられており、現時点では費用の助成は考えていません。国の厚生科学審議会において定期接種化の検討が継続されており、動向を注視していきます。

解説 带状疱疹ワクチン接種費用助成は、多くの市民の皆様から要望があり、ワクチンによる予防効果が非常に高いことが確認されています。発症した後遺症に移行すると生活の質や経済事情にも悪影響を及ぼし、国保事業の悪化につながります。主に年金生活者が占める65歳以上に限定してでも助成すべきと要望しました。

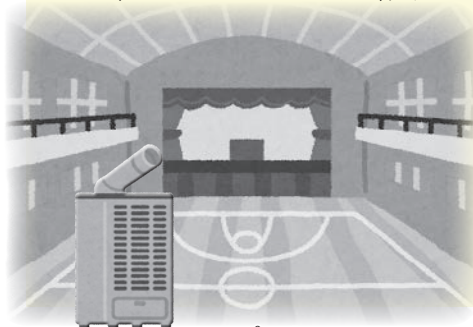
小中学校体育館へのエアコン設置について

問 小中学校体育館へのエアコン設置の現状と見通しについて伺います。

答 現在、市内の小中学校体育館にはエアコンは設置されていません。体育館よりも児童・生徒の密度が高まる理科室や図工室などの特別教室へのエアコン設置の要望があるため、特別教室を優先にエアコン設置を検討しています。体育館への設置には、断熱工事を含む巨額な費用が予想されることから、具体的な計画は考えていません。

解説 今後は年々気温が上昇することが予測され、熱のこもりがちな体育館での活動中の熱中症が危惧されます。また、体育館は大規模災害が起こった場合には、避難所としても使用されるため、避難所としても配慮する意味でもエアコン設置は必要です。

厳しい財政面を勘案し、費用を4分の1程度に抑えることができる強力スポットエアコンの設置を要望しました。



スポットエアコン



倉田 孝浩議員
2 期目・62 歳・館山
新政クラブ
(文教民生委員会委員長)

児童・生徒の登下校の

交通安全対策を問う

問 通学路の点検・整備について伺います。

答 「館山市通学路交通安全プログラム」を策定し、それに基づく対策をしつつ「通学路交通安全担当者会議」を開催し、効果的な安全対策を協議し、合同点検を行っています。

問 交通安全教室の実施及び運動マナー向上の取組について伺います。

答 館山警察署・館山交通安全協会・バス事業者などと協力し、児童・生徒に対する交通安全教室を定期的に行っています。また、運動マナー向上の取組については、館山警察署・館山交通安全協会などと連携して、危険な交差点への交通指導員の配備による注意喚起、広報車による呼び掛けやパトロールの実施の他、市のホームページ・LINE・フェイスブックでの広報・啓発活動を行っています。

解説 児童・生徒の交通安全は、整備された道路と交通安全教育がある



国道 410 号と市道の交差点（踏切付近）

北条中央公園のスケート ボード場設置について

問 令和 3 年 9 月議会で質問し、「スケートボード場を整備する」との回答をいただいています。その後の整備に向けた検討状況を伺います。

答 令和 4 年 10 月に北条中央公園のローラースケート場の路面を改修するための測量を行い、同年 12 月に滑走した際の騒音測定を行ったところ、「騒音に係る環境基準」の値を超えることが判明しました。周辺住民の住環境を考慮すると、北条中央公園でのスケートボード場の整備は難しいと考えます。



鈴木 順子議員
9 期目・73 歳・下真倉
じゅん風
(文教民生委員会副委員長)

高齢者保健福祉計画と

介護保険料の見直しを問う

問 3 年毎に高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が策定されますが、課題をどう捉えていますか。

また、介護保険料の見直しについてはどう考えていますか。

答 今年度、令和 6 年度から 8 年度までを計画期間とする館山市高齢者保健福祉計画を策定しますが、課題は多岐に渡ると考えています。

高齢化率 40% の館山市にとっては、医療、介護、福祉等のニーズが高いと考えられ、高齢者の医療等のニーズに比べられるよう、効果的な施策の展開が重要と考えており、地域共生社会の実現を目指し、制度やサービス等の枠組みを超えた「まるごと支援」の取組を進めていくことが必要と考えています。

介護保険料の見直しについては、館山市の人口や要介護認定者数の将来推計を踏まえ、施設などの整備計画や、各施策の取組方針を検討しつつ介護給付費準備基金の積立状況等を考慮して設定することが重要と考えています。

家庭ごみの 分別・出し方を問う

問 館山市では、今年度より、ごみの分別区分が変更となったが、分別と出し方について、市民に理解が得られていますか。

答 粗大ごみ処理施設の変更や資源循環の推進のために、陶磁器類の分別区分を金属類からガラス類に変更しました。また、金属類は 4 つに区分し、ガラス類は 2 つの区分で袋を分けるよう変更しました。

解説 全世帯に配布された保存版の「家庭ごみの分け方・出し方」は分かりにくい。市のホームページに分かりやすい資料があるので、活用すべきです。



市ホームページ（抜粋）



鈴木 ひとみ議員
2期目・64歳・佐野
新政クラブ
(総務委員会副委員長)

学校再編について

問 各地区で出された意見、また、今後の検討の進め方と再編を行う時期について伺います。

答 各地区の保護者からは、「クラス替え可能な学校規模」を望む意見が多数で、その理由として「子どもたちにより多くの友人と触れ合い、様々な経験をさせたい」など、子どもの社会性を育む観点の意見が多くありました。学習面からは、小学校での教科担

任制の実施など、標準規模校と小規模校の学習環境の違いを懸念する意見もありました。

今後の検討の進め方及び学校再編の時期ですが、「学校再編調査検討委員会」において、今年度中に具体的な学校再編計画の「素案」を作成し、それを基に各地区の「学校のあり方を考える会」と保護者委員の意見を取りまとめ、令和9年度から新たな枠組みでの学校運営をスタートすることを想定しています。しかしながら、早期の学校再編を望む意見もあり、再編時期の前の可能性も検討します。

ごみ処理の

今後のあり方を問う

問 生ごみ、草、剪定枝などの燃さない処理の検討について伺います。

答 廃棄物を可能な限り焼却処理せずに処理するためには、更に細かく分別し、清掃センターへ搬入する必要があります。市民の理解を得ることなども必要となるため現在では難しいと考えます。しかし、廃棄物の減量化、リサイクルの推進、環境への負荷軽減につながる事例として、今後、廃棄物処理について検討する際に、その有効性や可能性を議論します。

解説

地球温暖化防止対策として、燃さないごみ処理は、CO₂の排出を抑え、廃棄物の有効利用に繋がります。市民のごみへの意識改革を進めながら、検討してほしいと考えます。



安田 邦春議員
1期目・56歳・船形
青海原
(建設経済委員会委員)

道の駅 グリーンファーム

館山について

問 フードロス対策として、規格外の農産物など廃棄食材に付加価値を付けるために食品衛生法に基づくHACCP（ハサップ）を導入した加工場を設けることが食のまちづくり拠点施設の意義であり、義務であると考えますが、加工場の整備について伺います。

答 現在、この拠点施設に加工場を整備する予定はありません。地域内外から人や物や情報が集まる「道の駅」の特徴を活かし、運営していく中で、地域の実情や課題を把握し、生産者や加工業者の意見や周辺自治体の状況を踏まえ、その必要性や事業性等を調査したいと考えています。



建物内 工事中（8月下旬：議員視察）

海辺のまちづくりの 基本方針を問う

問 「館山湾振興ビジョン」は、現在でも館山市の進める「海辺のまちづくり」の基本であると考えてよろしいですか。

答 「館山湾振興ビジョン」は、シンクタンクに調査・策定を委託するとともに、国、港湾管理者である千葉県をはじめ、関係機関、関係団体等の意見を伺いながら平成21年3月に策定しました。このビジョンは館山湾を中心とした「海辺のまちづくり」の実現を目指すマスタープラン的なものと考えています。個々に見ていくと様々な社会経済情勢の変化等もありますが、大筋では、このビジョンに基づき海辺のまちづくりを進めています。



解説 市から「安房保健所では事業者の負担を考慮し、施設の基準を満たした調理室を整備できるよう、指導や助言を行っている。」さらに、「事業者から館山市に相談があれば、市も寄りそった対応をしていきたい。」と答弁がありました。今回の法改正で、調理室等に関する悩み等がある場合は、保健所、または市に相談してほしいと思います。また、令和6年5月末の猶予期間まで、有効な対策を探っていきたいと考えています。

答 館山市として助成ができる制度は、中小企業融資制度による利子補給・保証料補給や、小規模事業者経営改善資金利子補給制度があり、施設等の融資に関する支援を受けることができます。また、公共施設の調理室を利用する場合について安房保健所に確認したところ、事業者以外の者も利用する共有スペースのため、営業許可が得られないとのことです。



瀬能 孝夫議員
4期目・66歳・佐野
公明党
(建設経済委員会委員)

食品衛生法改正に伴う

行政支援について

問 食品衛生法改正により、調理室の設置などが義務付けられたことに伴う漬物製造業者等へ対する行政支援について伺います。

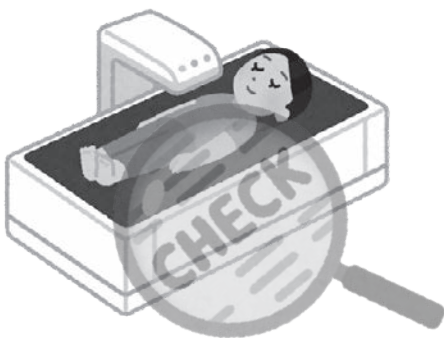
骨粗しょう症の

受診率向上について

問 骨粗しょう症検診の受診率向上へ向け、総合検診での実施について伺います。

答 館山市では30歳から70歳までの5歳刻みの女性を対象に、骨粗しょう症検診を実施していますが、検査スペースや検査機器、スタッフの確保といった課題があるため、総合検診での導入は難しいと考えています。今後とも骨粗しょう症検診の必要性について理解を広めていくとともに、より受診しやすい検診体制を構築することにより、さらなる受診率の向上に努めていきます。

解説 現在実施している骨粗しょう症検査の機器（デキサ法）は、総合検診での運用は難しいので、導入可能と考えられるQUS法や血液・尿検査など、各種の検査方法の検討を提案しました。



市議会 見たい・知りたい

YouTube 市議会を動画配信

本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（中継の2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。



LINEで 簡単に情報GET

館山市の公式ラインを登録することで、議会だよりや議会の情報が配信されます。



議場で傍聴 12月定例会の日程（予定）

開会日：11月30日（木）午前10時～
一般質問：12月12日（火）午前10時～
12月13日（水）午前10時～



たてやま議会だより 表紙写真 募集中！



※募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

※応募資格

どなたでもご応募できます。

※応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。

詳しくは、市議会ホームページ



議会報告会 参加者と議員が活発な意見交わす



10月28日、5年ぶりとなる対面式での議会報告会が市役所で開催され、

議員18人が午前と午後の2班に分かれ、参加者57人と活発な意見を交わしました。

報告会の内容は、初めに議会の3つの常任委員会（総務・文教民生・建設経済）から、6月・9月議会で審査した議案の内容が報告されました。

次に、「公共施設の再編」をテーマとした意見交換では、現在館山市で進められている、学校や保育施設、スポーツ施設、公民館などの様々な公共施設の統廃合などの現状について説明しました。

その後、参加者からの質問や意見に対して、議会としての見解や議員個人の考えを発言し、互いに理解を深めました。

また、より良い議会報告会にするための様々な貴重な提言がありました。

質問や意見交換の一部を要約し紹介します。



多くの貴重なご意見有難うございました。



【委員会報告について】
問 小学校のプールについて、全国で建替えの問題が出ていますが、議会としてどう考えているのか。

答 義務教育の中で小学生にはプールの授業を行うが、中学校は費用等の課題もある。



問 こども園職員の処遇改善はどうなっているか。議会として執行部に働きかけてほしい。
答 私立保育園は処遇改善手当がある。

【公共施設の再編について】
問 新館山中完成後の旧二中跡地について、公共利用ではなく、土地の売却・宅地開発等進めてはどうかと思う。利活用について議員が話し合うことはないのか。財政の硬直度高くなる前にお金を生み出すことが必要ではないか。

意見 再利用できる施設であれば、廃止される前に利活用を考えなければならぬ。
答 市有地の有効活用は常に議論している。売却できるものは積極的に売却していく方針です。



問 学校再編の協議はどのようなメンバーか。
答 学校再編については、各学校のPTAや地区役員等が協議し素案を作っている。

問 国の補助等で体育館を避難施設にする等、他の機能を組み込んだ施設としての新設を検討しているか。
答 今後、体育館を建設する場合、快適な避難所となるよう執行部に要望したいと思うが、施設の多機能化は今後の課題である。

意見 公共施設の再編・廃止は致し方ないと思うが、どういう形で再編・廃止にしていくのかを議論して、市民と共有してほしい。

【ご挨拶】
多くのご参加と貴重なご意見等を賜り、誠に有難うございました。
ご意見等は今後の議会活動の参考にさせていただきます。
議会報告会の概要とアンケート結果はまとまり次第、ホームページ等で公表いたします。
議長 太田 浩

【議会報告会について】
意見・要望
・意見交換で何を発言したら良いかわからなかった。事前に資料を公表してほしい。
・個別に質問はしづらいので、事前にアンケートを取ったり、質問を投げかける等してもらえると意見を出しやすい。
・様々な意見が出ると思うが、ある程度煮詰まってきたら議会としてまとめて市へ提言等した方がよい。
・市民と議員の距離感が遠い。もつとラフな感じの方が意見が出やすい。この空気感で過去に何か生まれたのか。
・市民と議会がやり取りする場を定期的に設けてほしい。
答 距離感、内容等、運営面に関しては次に繋げていきたい。資料の事前掲載は検討します。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、各地の祭礼、スポーツ大会、文化活動などが再開されています。

市議会の傍聴も制限なく行われ、9月の定例会では、令和4年度の決算審査を行い、事業が適切に執行されたかを確認しました。一般通告質問には10人の議員が登壇し、市政の課題について活発に議論しました。議場での傍聴のほか、外部配信していますので、ぜひご覧ください。

10月28日には、議会報告会を5年ぶりに対面で開催し、参加された皆様からは貴重なご意見を多く頂戴しました。いただいたご意見をもとに、議会内でも議論を深めていきたいと考えます。

今後とも市議会に皆様のご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

(鈴木ひとみ)

【広報広聴委員会】

委員長 瀬能孝夫
副委員長 石井敏宏
委員 秋山光章 鈴木正一
鈴木ひとみ 倉田孝浩
長谷川秀徳 安田邦春

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで、電話またはメールでご連絡ください。（下記参照）



たてやま議会だより ●No. 143 ●発行／館山市議会 ●〒294- 8601 館山市北条1145- 1
●電話0470- 22- 3527 ●議会事務局メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp

再生紙